

4 外国人就業者

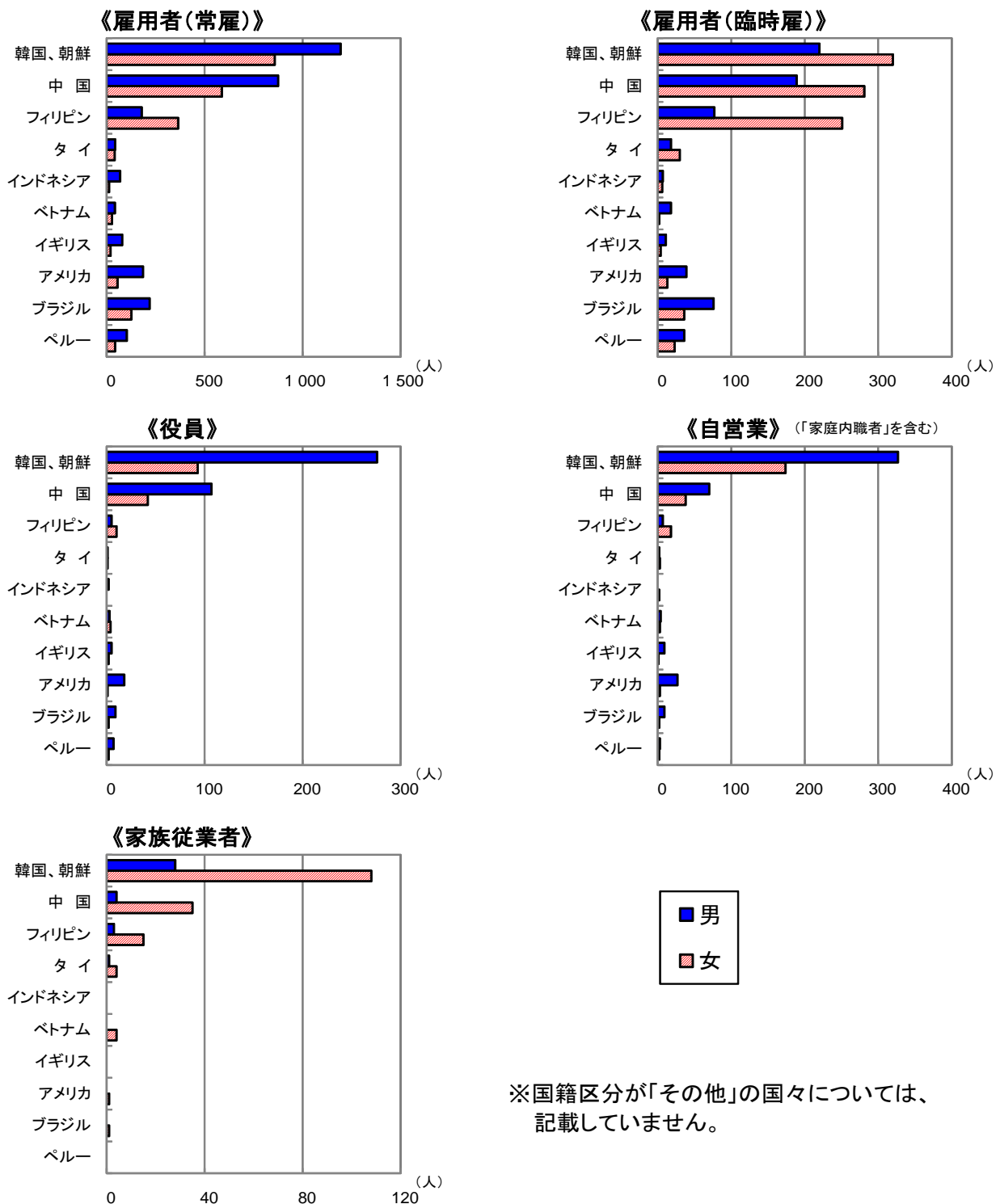
—いずれの従業上の地位においても「フィリピン」は女性が男性を上回る—

15歳以上の外国人就業者について、従業上の地位（5区分）、国籍（10区分）を分けて男女別の就業者数をみると、「雇用者（常雇）」では、「フィリピン」を除き男性が女性を上回っています。一方「雇用者（臨時雇）」では、「韓国、朝鮮」「中国」「フィリピン」「タイ」で女性が男性を上回っています。

「役員」では「フィリピン」「ベトナム」を除き、「自営業」では「フィリピン」「タイ」「インドネシア」を除き男性が女性を上回っていますが、「家族従業者」では男性が上回っている国はありません。

いずれの地位においても「フィリピン」は女性が男性を上回っています。（図10）

図10 従業上の地位(5区分)、国籍(10区分)、男女別15歳以上外国人就業者数(H17)



※国籍区分が「その他」の国々については、記載していません。

一 「雇用者（常雇）」では男女ともに「イギリス」の特化係数が高い一

15歳以上の外国人就業者の従業上の地位（5区分）別国籍（10区分）別割合を、全国の割合に対する川崎市の割合を示す特化係数（1を超えると集積の高さを示す）を使って男女別にみると、「雇用者（常雇）」では男女ともに「イギリス」が最も高く（1.48・1.85）、「雇用者（臨時雇）」では男性で「アメリカ」（1.71）、女性で「韓国、朝鮮」（1.61）が、「役員」では男性で「ペルー」（2.25）、女性で「ベトナム」（4.23）が、「自営業」では男性で「フィリピン」（1.84）、女性で「インドネシア」（5.55）が、「家族従業者」では男性で「フィリピン」（5.61）、女性で「ベトナム」（5.43）が最も高くなっています。（図11）

図11 従業上の地位(5区分)、国籍(10区分)、男女別15歳以上外国人就業者の特化係数(H17)
【雇用者（常雇）】

